



夢工房 そうありたいな 美術（アート）室

Keyword : 自分流, 美術（アート）, 遊び, オリジナル題材開発力



たのしく美術にかかわることのできる環境を子どもたちに保障し、その過程で人間力を身につけさせること。これが美術教育の最優先課題であり指導者の最大の責務と私は考えています。

したがって美術に関する指導者の一定レベルの見識は不可欠です。ただしこれは、指導者が「かく・つくる」ことができるようになるというような低レベルの資質を指すものではありません。

上掲写真は保育士等を目指す学生達の作品です。「5歳児程度の子どもが使える材料・用具を活用し“動かして遊べるモノ”をつくる」との私の課題を受け、紙皿、紙コップ、ストロー等々を前に七転八倒の学生たち。この七転八倒プロセスこそ脳はフル稼働のはずです。私の本意はここにあります。

脳の活性と美術が無縁でないことを知らせることでした。この認識こそが、将来、子どもたちにとって意味ある（脳に効く）オリジナル題材を開発する力につながると考えているからです。